

おし み教えをあなたと聴く^き

■ 楽曲データ

歌詞：大谷範子 作詞

楽曲：中出安子 作曲

発表：浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟 2010年

初演：—

初出：『めぐみ』2011年3月号 浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟事務局

管理番号：M2643

■ 創作の経緯

親鸞聖人750回大遠忌法要・第14回世界仏教婦人会大会の記念ソングとして制作。
《お名前よべば》とともに発表。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第6巻収録

底資料：自筆譜

比較資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

◆ 詞と曲について

作詞は、仏教婦人会総連盟総裁であられた大谷範子お裏方（現・前裏方）。お裏方は、折々のご挨拶のなかで、お念仏のみ教えを聴かせていただくとき、私たち一人ひとりがかげがえない存在であり、今を一緒に活かされていることに気づかされます、と語っていらっしゃいます。

《み教えをあなたと聴く》には、「あなた」と呼びかけられている人物が登場します。心晴れやかなときはもちろん、悩み苦しむときでも、私のそばには、阿弥陀さまや「あなた」がいてくれる——。その「美しく」「やさしく」、そして「強い」佇まいには、お裏方が常々抱かれている思いが、重ね合わされているように感じられます。その意味でこの作品は、おみのりを心のよりどころとして集う私たち女性の歌といえるでしょう。

作曲は、中出安子さん。神戸女学院大学音楽学部、同研究科を修了し、ピアニストとして活動する一方、作編曲・プロデュースへと活動の幅を広げました。これまでに、『音楽法要 重誓偈作法』『回向』の作曲、御堂演奏会やCD『響流十方』『ほほえみとともに』などで仏教讃歌の編曲を手掛けています。

◆練習のヒント

- ①ポップス調の仏教讃歌です。前半（9～21小節）は、歌詞を語るように歌います。リズムが難しい部分は、まず歌詞をリズム通りに読む練習をしてみましょう。力を抜いて読めるようになったら、楽譜通りに歌ってみてください。メロディーも、音が細かく動きますので、音取りは丁寧に行いましょう。
- ②後半（21小節～）は伸びやかに歌いましょう。音域も前半に比べると高くなるので、うまく切り替えて。音価がながい音符のときに、ピッチが下がってしまわないように気をつけましょう。

解説執筆：山口篤子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 研究員）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No.86（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第213号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.